

次期古賀市長選 ～私の想いと覚悟～

●市議としての責務を全う

2022年11月20日に古賀市長選挙が告示されます。田辺市長以外に立候補の動きはないようですが、選挙になるか、無投票になるかは告示日の午後5時に確定します。私は、今後の動きを見定めるとともに、田辺市長が市民に示すマニフェストを注視します。

市議選は来年4月に実施されます。今期は市議としての責務を全うします。

●市政適正化と政策提言の3年半

私は4年前の市長選挙に立候補しましたが力及ばず田辺市政が誕生しました。

その後、市議に復帰し、議会運営委員会委員長、政策推進会議会長、文教厚生委員、会派・友和の一員として議会機能の発揮に心がけ活動してきました。

田辺市政に対し、対話の在り方、薬王寺快生館の見通し、千鳥苑の存続・活用、宮地岳線跡地の活用、会議録の作成・公表等について問題点を指摘し改善を求めてきました。また、こども特定健診の早期実施をはじめ健康づくり対策拡充を繰り返し求め続けています。

3年半の議員・議会により行財政運営の適正化を図り市民福祉を向上するために一定の役割を果たしたと考えています。

●議会力アップをさらに追求

しかし、前述した懸案事項の解決はこれからが正念場を迎えます。物価高騰や少子・超高齢化など大きな課題はさらに進行します。2元代表制にもとづく議会と市長の関係の確立は今後ますます重要になりますが、議会力アップはまだまだ必要と認識しています。更なる議会力アップを追求していきます。

●次世代育成と市民力アップに力尽くす

民主主義において選挙は重要な機会であり、無投票は好ましくないという思いがあります。一方、2元代表制のもとチェック力や政策提言力が発揮される議会に変えていかなければならないという思いも強く抱いています。

さらに、市民の願いが反映されるまちづくりには市民力が基盤になればなりません。市民の皆さんへの情報発信や直接対話の場づくりは今後も継続していきます。加えて、新たな政治文化の醸成・市民シンクタンク育成に向けた種まきに着手します。

●進化・成長に挑み生涯現役めざす

今回の市長選挙はまちづくりの一つの通過点です。私は古賀のまちづくりに30年近くかかわってきました。この経験を伝承するとともに更なる進化・成長に挑みます。目標は生涯現役です。市民の皆さんのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

2022年11月7日

古賀市議会議員 奴間健司